

ノ爲メ本製鍊法ヲ公示シテ以テ聊カ軍國ニ貢獻セン事ヲ期ス

拔 萃

土 木

○紐育市ニ於ケル道路通行規則（承前）

第二章 速度

第一條 車輛其他運搬器ノ速度、當市ノ街道ヲ通行スル車輛其他運搬器ノ速度ハ左ノ制限

ヲ超過ス可ラズ

自轉車（二輪車、三輪車其他ノ自轉車）及原動器ヲ裝置セル車輛ハ尤大速度ノ場合ニ於テモ

一時間ニ八哩以内

馬又ハ其他ノ家畜ニ曳カレタル車輛及通行人ハ一時間ニ八哩以内

併シ人家稠密ナラザル場所（各建築物ノ距離百呎以上ヲ隔ツル如キ未完全ナル市街）ニ於

テ一時間十五哩以内

第二條 前條除外、本章ノ規程ハ消防局又ハ警視廳附屬ノ器具、荷車及火の番巡邏及負傷者

運搬車及市街鐵道ノ修繕用荷車及合衆國ノ郵便車ニハ適用セザルモノナリトス

第三條 超過速度ヲ禁ズ、當市ニ於ケル街道大通小路、車馬道ニ於ケル凡テノ車輛其運搬器

ノ乗者御者其他運搬器ニ對シ責任ヲ有スル者ハ其公道ノ通行、使用ニ對シテ適當ニ且ツ合

理的ナル範圍以上ノ又ハ不具者其他ノ人命ヲ害フ虞アル如キ急速度ヲ以テ其車輛ヲ驅ル

可カラズ

第四條 街道ニ於ケル横斷又ハ屈折ノ場合ニ於ケル速度南北ニ互ル凡テノ街道大通ヲ横斷スルキ或ハ凡テノ街道ニ於テ屈折セントスル時ハ其車輛及其他ノ運搬器ニ對シテ適法ノ速度ノ二分ノ一ヲ超過セザル速度ニ於テ之ヲナス可シ

第三章 警 燈

第一條 特許サレタル二輪車曳キヲ除ク外當市ノ公道又ハ大道ヲ使用スル各車輛其他ノ運搬器ハ日沒一時間後ヨリ日出一時間前ニ至ル間ハ前面及各側面ヨリ見ラル可キ一個又ハ二個以上ノ燈火ヲ裝置スルヲ要ス、若シ突出シテ裝置セラレタル警燈（たつし、らいご）ノ場合ニハ其車輛左側ニ裝置スルヲ要ス

第一項記載ノ燈火ハ前面ニアルモノハ白色ニシテ側面ニアルモノハ着色セルモノニテ且ツ二百呎以上ノ巨離ニ於テ見ラル可キ光輝ヲ有スルモノタル可シ併シ特許サレタル二輪車曳ハ此限ニアラズ

各自働車ハ第一項記載ノ時間中ハ二個ノ燈火ヲ裝置ス可シ而シテ其一ハ前進方向三百呎ノ距離ニ於テ見ラル可キ白色燈ニシテ他ハ反對ノ方向ヲ照ラス可キ赤色燈タル可シ而シテ其燈火ハ自働車ノ他ノ部分ヨリ來ル光線ノ爲メ妨ゲラレザル位置ニ裝置ス可シ、ぶろん街（これ）もんと通以南せろ街道路以東ノ第七十七番街道及ぶろん河以南ヲ除ク及りつちもんどくいん街及ぶろん街ノ第二十六番第三十番第三十一番第三十二當うわいどニ於ケル街道ニ於テ進行又ハ停止中ノ車輛及其他運搬器ハ其前方及后方三百呎ノ距離ニ於テ

明カニ見得ル光力ヲ有スル燈火ヲ一個又ハ二個以上裝置スルヲ要ス

第二條 條外、但シ本條ノ規程ハ騎者及車輛ニ附屬セル馬其他ノ家畜及燈火ノ消滅セル又ハ燈火ヲ有セズ家ヲ出發セルモノニシテ一時間六哩ヲ超過セザル步調ヲ取り且ツ三拾呎ヲ通過スル毎ニ一回ノ割合ヲ以テ聽感ニ訴フル信號ヲ爲ス自轉車乗者二輪車、三輪車、其他自轉者ヲ含ムニ對シテハ此規程ハ適用セズ

第四章 街道ノ不適當使用

第一條 二輪自轉車乗者ニハ惰力進行ヲ禁ズ、二輪自轉車ニ乘リテ其べたるヨリ足ヲ放シテ惰力乃チ運動余力ニ依リテ進行ス可ラズ

第二條 曲乘ヲ禁ズ、街道ニ於テ二輪自轉車ニ乘リ其双手ヲ把柄ヨリ放ス可カラズ又曲乗ヲナス可ラズ

第三條 二輪自轉車ニ依リテ小兒運搬ノヲ、紐育市内ニ於テハ五歳以下ノ小兒ヲ二輪自轉車ニテ運搬ス可ラズ

第四條 御者ノ年齡、特許サレタル車輛ヲ除キ凡テノ車輛其他ノ運搬器ノ責任者ハ特ニ警視廳ノ許可アルニ非ラザレバ拾六歳以下ノ者タル可ラズ

第五條 車輛ノ後部ニ乗ルヲ、御者ノ承諾ナクシテ車ノ後部ニ乗ル可ラズ且ツ後部ニ乗リタルキハ其身体ノ一部ヲ車輛ノ範圍以外ニ突出ス可ラズ

第六條 貸馬車ヲ驅リ廻スヲ、凡テノ貸馬車ハ其使用乗車客ヲ待タンガ爲メぼーるご、おぶあるだーむヨリ指定セラレタル貸馬車停留場以外ノ街道又ハ場所ニ停車シ置ク可ラズ

又狹キ餘地内ニ於テ其貸馬車ヲ彼方此方ニ驅リ廻シテ強制的ニ使用乗車ヲ勸ムル可ラズ
又劇場旅館公會堂集會所、流車停車場渡船場其他公衆ノ集合スル場所ニ於テノ整頓セル集
來退出ヲ防害ス可ラズ

但シ通行運輸ヲ妨グル如キ停車ヲナサズ又ハ通行ヲ遮斷スル如キ速度ヲ出サザルニ於テ
ハ其運轉中ニ限り使用乗車ヲ懇請スルコトヲ得且又劇場旅館公會堂集會所又ハ汽車停車
場渡船場其他公衆ノ集合スル場所ノ前ヲ一度通過セル后此等ノ場所ヨリ二丁目先キニ達
スル迄屈折又ハ後戻リヲナサバル限りハ以上記載ノ如キ公衆ノ集合スル場所ノ前ヲ往復
スルコトヲ得

第五章 人道ノ使用

第壹條 人道上ヲ驅ルコト、下ニ掲ゲタルモノヲ除ク外人道車道ノ區劃アル街道ノ人道ニ
於テ車馬其他ノ運搬器ヲ驅リ、後戻リ曳キ又ハ停メ置ク可ラズ

但シ渡橋ヲ掛ケテ人道ヲ越ヘ荷車其他ノ運搬器ヨリ荷物又ハ商品ノ荷積ミ荷却シ又ハ船
積ミ船却シ中ノモノ又ハ荷車其他ノ運搬器ノ後部ヲ人道ニ乘リ掛ケ以テ荷積ミ荷却シ船
積ミ船却シ中ニシテ其運搬器ト立關トノ間ニ徒歩者ノ通路アル場合ハ此限りニ非ズ

第二條 二輪車ヲ曳クコト、二輪車乗者ハ此レヨリ下車シ人道ヲ曳ク時ハ必ず一列タル可
シ又立關石階線以内ニテ且ツ妨ゲトナラザル所ニ於テ立チ留リ居ルコトヲ得

第三條 人道ニ於テ騎乗ノコト、市ノ郭外ニ於テ其街道ノ車道ハ其騎乗物ニ騎乗シ能ハザ
ル理由アル場合ニハ其人道上ヲ騎乗スルコトヲ得

第四條 人道ヲ横斷シテ驅ルコト、本章ニ規定シアラザル限リハ私有個所ヨリ車道ニ又ハ車道ヨリ私有個所ニ直接人道ヲ横ギリテ馬又ハ其他ノ運搬器ヲ驅リ又ハ此等ニ騎乘スルコトヲ得

第六章 街道使用ニ關スル一般法則

第一條 當然必要ナル注意、本規則ニ記載セラレザルコト又ハ略セラレタル事件ニ關シテハ街道ヲ使用シ、通行シ又ハ之レニ停止シ居ル如何ナル目的ノ爲メナルモ人ガ他ノ人又ハ運搬器トノ衝突ヨリ起ル災害ヲ防ギ又ハ避クル様判定解釋シ此レヲ取扱フ可キモノトス

第二條 通行ヲ妨グ可ラザルコト、街道ノ通行ヲ故意ニ遮ギリ又ハ閉塞スル様紐育市内ノ街道ニ於テ凡テノ運搬器ヲ停メ置キ又ハ驅ル可カラズ

運搬器ハ此レニ備ヘタル一頭又ハ數頭ノ馬ガ曳キ能ハザル程過量ニ荷積ミス可ラズ

第七章 警視廳ノ權能

第一條 警視廳ハ運輸通行ヲ取締ルコト、警視廳ハ凡テノ運搬器ノ通行ニ關スルコトヲ司ドル權理及義務ヲ有ス

第二條 警視廳ハ此命令ガ告示セラレ居ルヤ否ヤヲ點檢ス、警視廳ハ本命令ガ一般ノ馬寮及貸馬車一頭馬車荷車等ノ停車場ニ公示セラレ居ルヤヲ點檢シ且ツ常ニ此命令書ヲ所持シ且ツ其申請ニ依リテ此レヲ附與スルモノトス

第八章 定義

第一條 本規則ニ使用セル語句ノ定義、特ニ然ラサルコトヲ記載セルモノヲ除ク外此規則ニ

使用セラレタル語句ハ常ニ左ニ掲ゲタル如キ意義ヲ有ス而シテ單數ニテ用キタルモノハ
複數ヲモ含有スルモノトス

一、街道トハ各大通公道、車道、小車道、小路、橫小路及運搬器ヲ使用スル爲メニ使用シ又ハ其爲
メニ造リタル場所ヲ云フ

一、車道トハ土止又は土止線ノ間ニアル街道ノ部分ニシテ運搬器ヲ使用シ得ル様設計セラ
レタル街道ノ部分ヲ云フ

一、土止メトハ土止メ石ヲ以テ標示セラレ居ルト否トヲ問ハス運搬器ヲ使用スル爲メニ設
計セラレタル街道ノ部分ノ範圍ヲ示ス爲メニ街道兩側ニアル境界ナリ

一、運搬器トハ如何ナル形式ナルモ又如何ナル種類ノ動力ニ依リテ驅ラレ或ハ乗セラレ或
ハ押サル、トヲ問ハズ又遊興ノ爲メニ乗ルト乘客、荷物商品ヲ運搬スルトヲ問ハズ凡テ
街道ニ於ケル各荷車、馬車、乗合馬車、轎、押車、二輪自轉車、三輪自轉車其他運搬ニ使用スル物
(小兒用ノ駕車ヲ徐ク)及驅御セラル、ト騎乗セラル、ト曳導セラル、トヲ問ハズ凡テ曳
引及騎乗ニ用ユル動物等ヲ云フ

但シ或ル運搬器ニ附隨セル動物ハ其動物ノミヲ以テ一個ノ運搬器ト認メズシテ其運搬
器及動物ヲ合セ一個ノ運搬器ト認ム

第九章 違犯者ニ對スル處罰

一、違犯者ニ對スル罰金、此規則ヲ犯シタル者ハ違警罪トシテ論ス而シテ長官ハ正當ト認
メラル、口供又ハ同類者ノ証明ニ依リテ判決シ一弗以上十弗以下ノ罰金ニ處ス若シ罰

金納付ノ義務ヲ怠ルモノハ該長官ニ依リテ十日間以内ノ拘留ニ處セラルモノトス

(完)

B、T、

雜 記

○會員消息 會員工學士林菊太郎君准員工學士土屋峰吉君は從軍セラレタリ

會員香阪秀太郎君准員林清水君ハ去七月死亡セラレタリ
哀痛ノ至ナリ